

立命館宇治高等学校陸上競技部
総監督 荻野由信氏に関するお知らせ

平素より、本校陸上競技部の活動に温かいご支援とご声援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、長年にわたり本校陸上競技部の発展と選手育成に多大なるご尽力を賜りました荻野由信氏が雇用年齢等の関係から、総監督の任を離れられることとなりました。

荻野氏は、長きにわたり本校陸上競技部を力強く牽引され、競技力の向上のみならず、生徒一人ひとりの人間的成長を何よりも大切にされたご指導を貰ってこられました。そのもとで確立された指導体制は、長年にわたり本校を全国トップレベルへと導き続けてきました。

とりわけ女子駅伝においては、京都府高等学校駅伝競走大会での38年連続優勝、通算40回優勝という他に類を見ない偉業を成し遂げられました。さらに、全国高等学校駅伝競走大会においては、第1回大会から一度も欠かすことなく出場を続ける類まれなる高校として、日本の高校駅伝史にその名を刻んでいます。加えて、過去3度(第12回・第19回・第24回)の優勝を達成し、入賞回数においても全国最多を誇るなど、まさに日本を代表する伝統校としての地位を築かれました。

また、卒業生は全日本大学女子駅伝対校選手権大会において立命館大学の主力として活躍し、数々の優勝に大きく貢献してまいりました。さらに、全国都道府県対抗女子駅伝においても在校生・卒業生が京都代表として活躍し、日本屈指の駅伝チーム・京都の強さを体現し続けています。

日々の厳しい鍛錬の中で培われた、仲間とともに襷をつなぐ精神、最後まであきらめず挑戦し続ける姿勢、そして礼節を重んじる心は、部員たちに深く根付き、今後も受け継がれていく本校のかけがえのない財産です。これらすべては、荻野氏の情熱と献身的なご指導の賜物にほかなりません。

これまで本校陸上競技部が築き上げてきた輝かしい歴史と数々の偉業は、荻野氏の多大なるご尽力によるものであり、部員・卒業生・保護者ならびに関係者一同、心より深く感謝申し上げます。

なお、今後は荻野氏の教え子である池田恵美監督が、その志と伝統を受け継ぎ、本校陸上競技部はさらなる高みを目指して精進してまいります。師から弟子へと受け継がれるこの系譜こそが、本校陸上競技部の強さの根幹であり、未来へとつながる大きな力となるものと確信しております。

荻野氏のこれまでのご功績に改めて深い敬意と感謝を表するとともに、今後は本校陸上競技部を温かく見守っていただき、応援団として陰ながら支援していただきたいと思います。あわせて、荻野氏の今後のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

2026年3月
立命館宇治高等学校

ご功績

女子全国高等学校駅伝競走大会

第1回	1989年	4位	第14回	2002年	8位	第27回	2015年	12位
第2回	1990年	6位	第15回	2003年	4位	第28回	2016年	9位
第3回	1991年	4位	第16回	2004年	11位	第29回	2017年	4位
第4回	1992年	2位	第17回	2005年	10位	第30回	2018年	7位
第5回	1993年	5位	第18回	2006年	7位	第31回	2019年	7位
第6回	1994年	2位	第19回	2007年	優勝	第32回	2020年	5位
第7回	1995年	17位	第20回	2008年	3位	第33回	2021年	4位
第8回	1996年	12位	第21回	2009年	17位	第34回	2022年	4位
第9回	1997年	3位	第22回	2010年	6位	第35回	2023年	3位
第10回	1998年	9位	第23回	2011年	5位	第36回	2024年	4位
第11回	1999年	4位	第24回	2012年	優勝	第37回	2025年	3位
第12回	2000年	優勝	第25回	2013年	4位			
第13回	2001年	8位	第26回	2014年	2位			

